**社会福祉法人　槇の里**

**令和５年度**

**事　業　報　告　書**

**〔名　　　　　称〕　　　障がい者支援施設　　いすみ学園**

**〔事業種目・定員〕**

1. **施設入所支援事業　　　　　　　　　　　　５２名**
2. **生活介護事業〔①を含む〕　　　　　　　　６０名**
3. **短期入所事業　　　　　　　　　　　　　　　４名**
4. **共同生活援助事業（包括型）　　　　　　　１２名**

**「さくらの家」　　　　　　　　　　　６名**

**「たんぽぽの家」**　　　　　　　　　　**６名**



はじめに

　令和5年度は、コロナ禍により制約された「非日常」から「日常生活」を取り戻すことにあった。この一年を振り返ると年間を通じて感染対策を講じての外出や行事など、ほぼ通常な生活を営むことができた。また、3年余にわたるコロナ対策の歳月から得た知見に基づく創意工夫により文化的な活動の定着が図られたことも実績評価できる。

　利用者支援は「全員処遇」を方針とした以降、自閉症を中心とする知的障がい者の「明るい未来を拓く」とする理念に向かって、職種を問わず全ての職員が「利用者の良き隣人」としての職責を果たしてきた。職員の意識の浸透は確実に成果をあげてきており、特にパ－ト職員との共同関係が確かなものとなったことを実感した1年ともなった。

　食事は利用者の日々の楽しみであり、学園では開設当初から食の充実を基本のひとつとして事業を進めてきた。高齢虚弱化もあり介護食へと移行する利用者も増えてきているが、担当職員、看護師、栄養士で話し合いを重ねながら利用者にとって楽しみとなる介護食を追求してきた。DМ食や糖尿病食の利用者も食事形態や食事量を見直し、普通食にできる限り近づけられる努力を続けている。

　一般的な健康診断や採血などの健康観察にとどまらず、内視鏡検査などの検査も必要となっている。利用者や保護者への説明も丁寧に行い、大腸内視鏡、胃内視鏡はすべて問題なく対応することができた。ある利用者はポリープ切除も実施されたが、高齢域に達する利用者の健康管理に有益な体験となった。1年間では内科（272名）歯科（195名）がもっとも通院件数が多い診療科であり、これも高齢虚弱化の顕著な証である。生活介護体制への影響が懸念される状況であるが、特段の問題が生じていないのは数年前から地域医療に移行したことと、複数通院に切り替えたことが功を奏した証左である。

看護師の生活支援への積極的な協力により支援現場への連絡調整も円滑に実施することができた。

　職員の研修はスキルアップ、キャリアアップの観点からも重要である。コロナ禍では十分に実施できなかったが、令和5年度は以前と同じように十全に実施することができ、職員のモチベーション向上を図ることができた。また職場内研修においては講師の技量や資料作成のレベルも明らかに向上しつつあり、職員のレベルアップやファシリテーター的な技量向上も確実に進んでいる。

　今後も利用者の生活支援の向上を目指して研修の充実強化に取り組んでいきたいと考えている。

**【１】令和5年度を振り返って**

　ロシアによるウクライナ侵攻は3年目を迎え、中東におけるイスラエルのガザ侵攻も激しさを増してきている。そうした状況下において、世界的な物流障害や円安、ドル高による物価高騰という波が我々の生活を圧迫してきている。また、新型コロナウイルスは発生から4年が経過し、我々の生活を脅かしてきたが5類に移行され、長かったトンネルをようやく抜けることができて、令和5年度は、本来の生活を概ね取り戻せた年であった。

　保護者面会日は計画通り実施し、久しぶりに家族との時間を共有する機会となった。また、日中活動をはじめ、班別の一泊旅行や夏祭りなども計画することができた。４年ぶりに開催した「槇の里祭」は、大勢のお客様の来園があり大盛況であった。暮れにはクリスマス忘年会、新年には餅つき会や紅白歌合戦等、学園恒例の年中行事を行う事ができた。全般を通して利用者の楽しそうな様子が印象的であった。

高齢虚弱者対策の一環として、理学療法士の毎月一回定期訪問を継続している。拘縮予防や機能維持等の指導は支援会議で報告し、日中活動だけでなく生活場面でも取り入れてきた。今後は個別支援計画とリンクさせる等の取り組みへと発展させいてき、また、介護支援の強化（経管栄養及び痰吸引）の為、新たに８名の職員が喀痰吸引の資格を取得し、利用者の高齢虚弱化の進行により介護ニ－ズはたかまってくるが、医療機関に委ねるまでの間は全力を挙げて利用者の介護、看護にあたることを目指していきたい。新規入所の利用者や若年層に対しては、国で進める地域移行の方向に沿った取り組みも必要となっている。既存のグループホームの活用や拡充も踏まえて、来年度は喫緊の課題として検討を始めたい。

障がい者虐待防止の推進の為、令和４年度から「関係研修会の実施」と「虐待防止委員会の設置と検討結果の周知徹底」及び「責任者の設置」が義務化された。令和５年度には、支援現場における日常的な権利擁護の取り組みをサンプリングするとともに、成功支援事例等を全職員で共有する取り組みを進めてきた。

次年度は創設４０年を迎える年である。記念式典の開催などに向けた準備を進めるとともに、改めて４０年のいすみ学園の実践の成果をしっかりと検証し、新たな一歩を踏み出す1年としたい。

**【２】利用者支援の柱**

（１）高齢・虚弱者対策

１・利用者の健康管理

嘱託医については川野先生に代わって病院長の伴先生に依嘱したが内科的なフォローが必要な利用者は年々増加しているなか、検診後に一人一人に的確な指導により健康面の支えとなっている。

　同脳神経内科の野村先生も利用者の体調変化や服薬変更に迅速に対応してくれている。体調悪化に伴う受診や入院要請にも即時対応をしてくれており、心強い限りである。さらに産業医としても快適な職場環境作りや職員のメンタルヘルスにも対応してくれている。

(コロナウイルス感染状況)

令和５年７月１４日、１名感染（LEOC従業員から感染）

令和５年７月１７日、２名感染（GH内で感染）

令和５年７月２６日、２名感染（学園職員から感染）

令和５年８月４日、３０名感染（学園内で感染）

２.主な健康管理

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内容 | 実施日 | 対象者 |
| 利用者健康診断(心電図含む)  夷隅医師会診療所(巡回健診)  利用者健康診断(胸部X-P含む)  夷隅医師会診療所 | R5.9.1  R6.2.6 | 全利用者　　　　67名  全利用者　　　　66名 |
| 生活習慣病予防健診  　JCHO千葉病院(巡回健診)  生活習慣病予防健診  　JCHO千葉病院(巡回健診) | R5.7.20  R6.1.15 | 夜勤従事者　　　25名  職員　　　　　　44名 |
| 肝炎検査 | R5.5.29 | 52名 |
| 大腸がん検診 | R5.6.1～6.12 | 49名 |
| 前立腺がん検診 | R5.5.29 | 24名 |
| 乳がん検診 | R5.7.31 | 7名 |
| 新型コロナワクチン接種 | R5.7.15  R5.10.7 | 34名  33名 |
| インフルエンザ予防接種 | R5.11.7 | 全利用者　　　　67名  職員　　　　　　52名  委託業者　　　　 5名 |
| 風疹抗体検査 | － | 対象者なし |
| 肺炎球菌ワクチン接種 | R5.6.19 | 3名 |
| 脳神経内科(野村Dr.)診察  血液(血中薬物濃度測定)検査 | 毎月第2金曜日  R5.7.11 | 延べ人数　　　 456名  35名 |
| 精神科(丸山Dr.) |  | 延べ人数　 19名 |
| 喀痰吸引等研修(1号) | R5.5.18～6.23 | 1名 |
| 喀痰吸引等研修(3号) | R5.6.15～7.10 | 7名 |
| 毎月第1土曜日に体重測定　隔週日曜日に血圧測定 | | |
| 救急講習 | | |

＊7/29の新型コロナワクチン接種はクラスター発生のため10/7へ変更

＊池田(恭)…7月から野村Dr.

＊細谷…5月から野村Dr.

＊野口…9月から野村Dr.

＊丸山・村田・川島…1月から野村Dr.

＊嘱託医変更により訪問診察は中止

＊伊藤…2/6の利用者健診は入院中のためキャンセル

施設外診療

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 診療科 | 延べ人数 | 備考 |
| 脳神経内科 | 44名 | 野村Dr.訪問診察除く |
| 内科 | 272名 | ワクチン接種・健康診断除く |
| 外科 | 31名 | 大腸内視鏡検査 8名  胃内視鏡検査1名  PEG交換 |
| 整形外科 | 12名 |  |
| 泌尿器科 | 10名 |  |
| 皮膚科 | 24名 |  |
| 耳鼻科 | 4名 |  |
| 眼科 | 3名 |  |
| 婦人科 | 1名 |  |
| 歯科 | 195名 |  |
| 合計 | 596名 |  |

いすみ医療センター・塩田病院・亀田クリニック・永津さいとう医院・長生病院

北村整形外科・土屋外科内科・大原眼科・ちはら歯科医院・鈴木歯科医院

野村Dr.診察

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 4/14  35名 | 5/12  36名 | 6/9  36名 | 7/14  37名 | 8/18  37名 | 9/8  38名 |
| 10/13  38名 | 11/10  38名 | 12/8  38名 | 1/12  41名 | 2/9  41名 | 3/8  41名 |

歯科検診（ちはら歯科医院）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 4/14  万木2班  11名 | 5/19  石鹸班  9名 | 6/9  加工班  10名 | 7/14  万木1班  11名 | 8/18  中止 | 9/8  中止 |
| 10/13  外作業A班  12名 | 11/17  外作業B班  9名 | 12/1  万木2班  14名 | 1/19  石鹸班  12名 | 2/9  加工班  10名 | 3/8  万木1班  9名 |

＊ちはら歯科にて定期検診しているため年1回の集団歯科検診は中止

＊8月の定期受診は感染対応中のため中止

＊9月の定期受診は台風のため中止

＊G実習・就労者は鈴木歯科医院受診

３.入院

・男性KM R5.2/25　右大腿骨転子部骨折のため塩田病院整形外科へ入院

　　　　　　　　R5.5/16　死亡退院(軟部組織感染症)

・男性TA R5.10/24 CFEMRのためいすみ医療センター外科へ入院

　　　　　　　　R5.10/25 退院

・男性YI R5.12/2　肺炎のため塩田病院脳神経内科へ入院

　　　　　　　　R6.2/29　退院

　　　　　　　　R6.3/9　 肺炎のため塩田病院脳神経内科へ入院

4.　食事形態

**【主治医の指示があり食事変更を行った方】**

　　R5.10月１日（朝）～　糖尿病食C　⇒　糖尿病食D（1900㎉　⇒　2100㎉）男性1名

BMI18.6　体重痩せの為食事量増やす

　　　R5.10月１日（朝）～　糖尿病食D　⇒　糖尿病食C/E（2100㎉　⇒2400㎉）男性1名

　　　　　　　　　　　　　　BMI18.9　体重痩せの為食事量増やす

　　　R5.12月28日（朝）～　糖尿病食A/C　⇒　糖尿病食C（1400㎉　⇒1500㎉）女性1名

　　　　　　　　　　　　　　BMI17.8体重痩せの為主食量を調整（朝・夕粥200ｇ、昼300ｇ）

　　　R5.12月28日（朝）～　B　⇒　B/C　（1500㎉　⇒　1700㎉）　　　　　　女性1名

　　　　　　　　　　　　　　TP値（たんぱく質）が低値の為おかず量を増やす

　　　R6.３月14日（昼）～　糖尿病食C　⇒　糖尿病食A/C（1500㎉　⇒1400㎉）女性1名

　　　　　　　　　　　　　　嘔吐頻回　食事摂取不良あり主食の提供量を減らす

**【健康管理委員会にて食事量の見直しを行った方】**

　　　R5.4月22日（昼）～　おやつ制限解除　BMI 23で安定しているため　　　　男性1名

　　　R5.4月24日（朝）～　C　⇒D（1900㎉　⇒2100㎉）　　　　　　　　　　　男性1名

　　　R5.4月24日（朝）～　D　⇒D/E（2100㎉　⇒2500㎉）　　　　　　　　　　男性1名

　　　R5.4月24日（朝）～　C　⇒B　（1900㎉　⇒1500㎉）　　　　　　　　　　女性1名

　　　　　　　　　　　　　　4月24日から3名　嗜好調査、食事量調査より変更

R5.4月25日（夕）～　糖尿病食B/C　⇒糖尿病食A/C（1500㎉　⇒1400㎉）女性1名

　　　　　　　　　　　嘔吐あり主食粥量調整

　　　R5.6月14日（朝）～　ふりかけ嫌食　代替佃煮を提供する　　　　　　　　男性1名

BMI18.7痩せの為摂取量確保を目的

　　　R5.6月15日（昼）～　B/C　⇒D（1700㎉　⇒2100㎉）　　　　　　　　　　男性1名

　　　　　　　　　　　　　　身体活動レベル高く、体重減少傾向の為食事量増やす

　　　R5.6月15日（昼）～　D/E　⇒　E　（2500㎉　⇒　2800㎉）　　　　　　　男性1名

　　　　　　　　　　　　　　BMI19.9　体重減少傾向主食量を増やしても食べられると判断

　　　R5.9月1日（朝）～　C食パン1枚指示より2枚通常量へ

　　　　　　　　　　　　　　BMI16.5痩せの為摂取量を確保　食べられる為　　　女性1名

　　　R5.9月11日（朝）～　汁具なしトロミへ　誤嚥予防の為　　　　　　　　　男性1名

　　　R5.9月11日（朝）～　E/D　⇒　E（2400㎉　⇒2800㎉）　　　　　　　　 男性1名

　　　R5.9月11日（朝）～　B　⇒　B/C（1500㎉　⇒1700㎉）　　　　　　　　 女性1名

　　　R5.10月15日（朝）～たんぱく質ゼリー中止、　体重増加見られるがたんぱく質、

アルブミンの数値改善見られない為。

朝リハたいむ（個人購入栄養剤）1本付

トレー、自助食器使用へ　　　　　　　　　　　　　　女性1名

　　　R5.10月15日（朝）～たんぱく質ゼリー中止　体重増加見られるがたんぱく質、

アルブミンの数値改善見られない為。　　　　　　　　女性1名

**【体調不良などで食止め、食事量の調整、食事形態や食具の変更を行った方】**

R5.4月20日（朝～夕）　発熱にて居室対応食事ディスポ食器で提供　　　男性1名

　　R5.4月24日（朝～夕）大腸カメラ検査食提供　　　　　　　　　　　　　男性1名

　　R5.5月15日（朝～夕）大腸カメラ検査食提供　　　　　　　　　　　　　男性1名

　　R5.5月22日（朝～夕）大腸カメラ検査食提供　　　　　　　　　　　　　女性1名

　　R5.5月29日（朝～夕）大腸カメラ検査食提供　　　　　　　　　　　　　男性1名

　　R5.7月20日（朝）～　漬物刻み　⇒ペースト状佃煮へ

硬いもの刻みに食べにくさあり軟らかいもの提供へ　　　女性1名

R5.8月3日（昼：全粥・極刻み　おやつ：ジュース125㎖/本　夕：非常食のペースト食とジュース125㎖/本）8月4日胃カメラ検査の為

食事形態下げて消化の良い食事提供 　　　　　　　　　　　　 女性1名

　　R5.8月4日（昼）～　8月17日（昼）全粥、極刻み食　おやつゼリー、プリン等

軟らかいものジュース提供　胃カメラ検査後の為消化の良い食事提供

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　女性1名

　　R5.8月21日（朝～夕）大腸カメラ検査食提供　　　　　　　　　 　　　　　　女性1名

R5.8月28日（朝～夕）大腸カメラ検査食提供　　　　　　　　　　　　　　　 男性1名

　　R5.9月 4日（朝～夕）大腸カメラ検査食提供　　　　　　　　　　　　　　　　男性1名

　　R5.9月13日（朝～夕）大腸カメラ検査食提供　　　　　　　　　　　　　　　　男性1名

　　R5.10月23日（朝～夕）大腸カメラ検査食提供　　　　　　　　　　　　　　　男性1名

　　R5.11月27日（朝～夕）大腸カメラ検査食提供　　　　　　　　　　　　　　　女性1名

　　R6.1月4日（夕）～1月5日（朝）下痢症状あり、カレー以外のメニュー変更 　男性1名

R6.1月13日（夕）～　1月31日（朝）まで　たんぽぽGHより学園対応　　　　男性1名

　　R6.3月24日（夕）～3月25日（朝）まで　下痢の為ディスポ食器　居室対応　　男性1名

　　R6.3月24日（夕）～3月26日（朝）まで 嘔吐ありディスポ食器 居室対応　　男性1名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〃　　　　　　　　　　　　　女性1名

　　R6.3月26日（夕）～3月28日（朝）まで 嘔吐ありディスポ食器 居室対応

粥200ｇ・おかず1/2量刻み　　短期 男性1名

　　R6.3月27日（夕）～3月28日（朝）まで 嘔吐ありディスポ食器 居室対応

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　粥200ｇ・おかず1/2量　　　　　　　男性1名

　　R6.3月30日（昼）～3月31日（朝）まで 嘔吐、発熱あり　ディスポ食器 居室対応

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　粥200ｇ・おかず1/2量　　　　　　　女性1名

R6.1月21日(夕）～1月23日（昼）　嘔吐あり　食事提供量1/2～2/3調整

　　　 2月1日（昼）～2月3日 （昼）　嘔吐あり　食事提供量1/2調整

　　　 2月7日（昼）～2月7日 （夕）　嘔吐あり　食事提供量1/2調整

　　　 2月9日（昼）～2月11日（昼）　嘔吐あり　食事提供量1/2調整

　　　 2月18日（昼）～2月18日(夕）　嘔吐あり　食事提供量1/2調整

　　　 2月24日（夕）～2月25日(夕）　嘔吐あり　食事提供量1/2調整

3月4日（昼）～3月5日 （昼）　嘔吐あり　食事提供量1/2調整　　　　女性1名

**【感染症予防対策にてディスポ食器（使い捨て食器）使用】**

コロナウイルス対応　たんぽぽGH　R5.7月14日（昼）　～　R5.7月28日（昼）まで

　　コロナウイルス対応　さくらGH 　 R5.7月29日（夕）　～　R4.8月18日（朝）まで

　　コロナウイルス対応　美術館隔離　R5.7月14日（昼）　～　R5.8月2日（朝）まで

女性1名　男性2名

　　コロナウイルス対応　棟内　R5.8月4日（朝）～　男性2名　　ディスポ食器で提供

　　　　　　　　　　　　棟内　　　〃（昼）～　男性4名　　　　　　　　　　〃

　　　　　　　　　　　　棟内　　　〃（夕）～　男性1名　　　　　　　　　　〃

　　　　　　　　　　　　棟内　R5.8月5日（昼）～R5.8月18日（夕）まで　　〃

　　下痢・嘔吐症状対応　棟内　R6.3月28日（昼）～R6.4月1日（朝）まで

　　　　　　　　　　　　食堂利用中止　ディスポ食器で提供

**【栄養管理、献立について】**

・令和5年2月に嗜好調査、身体活動レベルの見直しを行い、令和5年度の給与栄養目標量

を算定しました。

給与栄養目標量：エネルギー2100㎉　たんぱく質81g　脂質58g　炭水化物310g　食塩8g

・療養食加算　糖尿病食　女性2名　DM1400㎉　R3.5月14日（朝）より　食塩6ｇ以下

　　　　　　　　　　　　　　　　　DM1900㎉　R4.4月6日（夕）より

　　　　　　　糖尿病食　男性2名　DM1900㎉　R2.11月11日（昼）より

　　　　　　　　　　　　　　　　　DM2100㎉　R4.4月6日（夕）より　　以上4名継続

・経管栄養　半固形栄養剤ラコール1パック300㎉　（ 1- 0 - 2 ）900㎉　 男性1名

・個人購入にて栄養剤（たんぱく質ゼリー等）提供している方　男性1名　女性2名

＜たんぱく質ゼリー：70ｇ/1個（エネルギー91㎉　タンパク質7.5ｇ）＞

　・R5.8月30日、昼食の主食（ごはん）にビタミン強化米ともち麦を隔日提供。

　　ビタミンB1、B2、食物繊維を添加し、充足率をアップさせる。

　・R5.9月21日　善意銀行より　精白米の寄附があり、レオックが食材費を考慮し、行事食の充実、おやつの追加提供あり。

**【栄養状態の評価　52名中】**

令和5年4月　　肥満2%：男性0名　女性2名　 痩せ20%：男性7名　女性3名

令和6年3月　　肥満2%：男性1名　女性0名　 痩せ15%：男性5名　女性3名

令和6年3月9日　男性1名入院中

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 男性 | 女性 | とろみ使用 |
| 常食 | 29名 | 12名 | 0 |
| 一口大 | 3名 | 3名 | 1名 |
| 刻み | 0 | 2名 | 1名 |
| ごく刻み | 1名 | 1名 | 2名 |
| 粥 | 0 | 1名 |  |
| スベラ粥 | 1名 | 1名 |  |
| 経管栄養 | 1名 |  |  |

令和6年3月31日　現在

５．感染症対策

新型コロナウィルスは5類に移行し、外出制限は緩和された。全国旅行支援なども実施され、ウィズコロナの社会活動が本格的に始まってきている。学園でも外出規制は行わず、可能な限り日常生活を取り戻すことに努めてきた。基本的な感染症対策を疎かにすることなく、できる限りの感染症対策を継続しながら、日々の生活を楽しむことを追求してきた。一面では危険性を抱えながらの対応でもあったことから、8月には4回目のクラスターを経験することになったが、職員の習熟した対応や迅速な隔離対策の結果、誰一人も重症化することなく乗り越えることができた。

６．高齢者支援

利用者支援において、年々介護の度合いが大きくなっている。嘱託医の伴医師・野村医師、理学療法士の磯野PTから助言と指導を頂いている。

常時車椅子を使う利用者だけでなく、足腰の状態により車椅子を使うケ－スや歩行器　の利用や付き添い見守りなどの個別での対応が必要となっている。他にも食事や歯磨き、トイレや入浴、着替えなど生活のあらゆる場面で人手や介護の時間がかかる状態となっている。今年度は胃ろうの利用者への医療的支援の充実に向け、喀痰吸引の研修を新たに８名が受講し、介護現場に対応している。

７．日中活動

今年度はコロナウィルスが５類へと移行したことから、引き続き感染症対策は続けながらも行事等を復活させ、元の生活を取り戻すべく支援を行ってきた。作業班については大きな改編は行わず、利用者の健康と情緒の安定に努めた。結果的に、落ち着いた日中活動を維持することができている。高齢虚弱者の日中活動支援と生産性を求める日中活動支援との二極化の進行については、昨年度に集団化した介護班と外作業班の活動内容の更なる充実と、石鹸班や食品加工班の生産活動の拡大・販売促進を進めてきた。結果的に安定した生産活動と介護・看護とを両立させることができた。

８．新棟建設

長引く国際紛争等の影響による建設資材の物価高騰など、昨年度からの課題が終息していない。そんな中、令和5年度も新棟建設に向けた事業の延期を余儀なくされた1年であった。建築に要する経費の見直し等も含め、次年度からの検討の再開を予定している。

９．介護浴槽

今年度に介護浴槽を日常的に使用してきたのは、基本女性利用者２名と男性利用者２名であったが、女性利用者1名が身体状況の変化により、今年度の後期より、毎月4回程度の利用を実施した。また、男性利用者1名は12月から入院となっている。次年度も一般浴槽での入浴が困難になった利用者には介護浴槽での入浴を経験してもらい、状態が合えば移行していく形をとっていく。

（２）人材確保

今年度は、４月の年度スタートの時点で、退職者の人数相応の３名の人員補充が行えた。特に数年来の課題でもあった「若手職員」も男性１名の人材確保が叶った。一年を経過し、全員がそれぞれの部署で順調に勤務が行えており、学園運営に貢献している。

１．求人活動

学園ホームページでの求人に加え、ハローワーク及び地域向けの求人情報誌などを活用した。その結果、複数の問い合わせがあり、その中から有意の人材を獲得する事ができた。

（３）人材育成

１．職場内研修

今年度の職場内研修は以下の予定で実施した。この目的は、「職員が学びたい事」・「職員に学んで欲しい事」を研鑽することで、職員の資質を高めると共にその後の利用者支援に対するスキルアップを図ることにある。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | テーマ | 内　容 | 担当 |
| ４月 | 学園理念 | 学園理念 | 施設長 |
| ５月 | 支援の方向性 | 利用者支援について | 課長 |
| ６月 | 自閉症療育の現在 | 幼児・特別支援教育の実践から | 軽込 |
| ７月 | 介護保険問題 | 65歳問題を学ぶ | 加茂 |
| ８月 | 防災対策 | 防災器具の使い方 | 三上 |
| ９月 | 権利擁護 | 行動規範 | 岩瀬祐 |
| １０月 | 食事について | 高齢者の食事について | 大屋 |
| １１月 | 健康管理 | 利用者の健康管理 | 鈴木 |
| １月 | 余暇支援 | 利用者の余暇支援について | 田辺 |
| ２月 | 就労 | 障がい者就労の実状 | 片岡 |
| ３月 | 地域支援 | 制度にのっとった暮らし | 屋代 |

２．職場外研修（直後の支援会議で研修報告をする事を義務としている）

今年度は、アフターコロナとなり、昨年度に比べ職員個々が希望するテーマに沿った内容の研修が増加している。専門研修や新人職員研修等、計画的に実施した。

(職場外)　目的に応じて派遣

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 期間 | 参加者 | 研修テーマ | 開催地 | 目的 |
| 4.6 | 佐久間 | 支援スタッフ部会第一回運営委員会、代表者会議 | 千葉 | 出張 |
| 4.14 | 堂下  井上 | 千葉県知的障害者福祉協会・障害者支援施設部会総会 | 千葉 | 出張 |
| 5.10 | 佐久間 | 千葉県知的障害者福祉協会　理事会 | 千葉 | 出張 |
| 5.11 | 堂下  井上 | いすみ市障害者施設協議会 | 千葉 | 出張 |
| 5.16 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 千葉 | 研修 |
| 5.24 | 佐久間 | 千葉県知的障害者福祉協会　総会 | 千葉 | 出張 |
| 5.25 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | リモート | 研修 |
| 6/  1.8.15.22.29 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | リモート | 研修 |
| 6.16 | 小守 | 長生郡市総合支援協議会居住部会定例会 | 長生村 | 研修 |
| 6.17  ～18 | 藤平  秋葉 | 令和5年度障害者施設職員研修会  （新人職員コース） | リモート | 研修 |
| 6.22 | 佐久間 | 支援スタッフ部会　第二回運営委員会 | 千葉 | 出張 |
| 6.23 | 大屋 | 千葉県栄養士会　食べる支える嚥下調整食 | リモート | 研修 |
| 6.23 | 加茂 | 東京都グループホーム説明会 | リモート | 研修 |
| 6.24 | 高地  長田 | 全日本自閉症支援者協会  関東ブロック研修会 | リモート | 研修 |
| 6.27 | 大屋 | 令和5年度給食施設管理者・従事者講習会 | リモート | 研修 |
| 6.30 | 鈴木典 | 日本セルプセンター第４７回総会 | リモート | 出張 |
| 7/  6.11.12.13. | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 千葉 | 研修 |
| 7.12 | 軽込 | 全国自閉症者支援者協会　総会 | 東京 | 出張 |
| 7.18 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | リモート | 研修 |
| 7.22 | 長田 | 障害のある人を支援する防災研修会 | リモート | 研修 |
| 7.28 | 小守 | 障害者グループホーム世話人研修会 | 茂原市 | 研修 |
| 8.1 | 長沼 | 社会福祉法人役員・管理者向け  「目からウロコの会計と決算書の見方」 | リモート | 研修 |
| 8.3～4 | 佐久間 | 関東地区知的障害関係施設種別代表者会議  「長野大会」（出張） | 長野 | 出張 |
| 8.21 | 佐久間 | 支援スタッフ部会　第三回運営委員会 | 千葉市 | 出張 |
| 8.23 | 片岡 | 令和5年度　地域意見交換会 | 御宿 | 出張 |
| 8.28 | 大屋 | 令和5年度　夷隅郡市栄養士会総会・研修会  「あぶらと健康について～話題のMCTを中心に」 | いすみ市 | 研修 |
| 9.1 | 佐久間 | 支援スタッフ部会　夷隅・長生ブロック  第二回ブロック代表者会議 | いすみ市 | 出張 |
| 9.4 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | リモート | 研修 |
| 9.8 | 大屋 | 夷隅郡市栄養士会役員会 | いすみ市 | 出張 |
| 9.16 | 大屋 | 千葉県栄養士福祉事業部　第三回研修  「子供の食事に必要な機能の獲得について」 | リモート | 研修 |
| 9.22 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 千葉 | 研修 |
| 10.2  ～10.4 | 堂下  加茂 | 第３４回全国グループホーム等研修会  中国地区大会 | 広島 | 出張 |
| 10.6 | 軽込 | 社会福祉施設における防災対策 | 茂原市 | 出張 |
| 10.9 | 高地  吉田 | 福祉ライブカフェ | 千葉 | 出張 |
| 10.10 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | リモート | 研修 |
| 10.12 | 佐久間 | 千葉県知的障害者福祉協会　理事会 | 千葉 | 出張 |
| 10.17  ～18 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 北海道 | 研修 |
| 10.23 | 三神 | 東京都災害派遣福祉チーム員　登録研修会 | 東京 | 出張 |
| 10.24 | 是枝 | 千葉県知的障害者福祉協会　権利擁護委員会  事業所見学 | 富津市 | 出張 |
| 10.25 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 館山市 | 研修 |
| 10.26 | 佐久間 | 令和6年度障害福祉サービス等報酬改定要望集会 | 東京 | 出張 |
| 10.27 | 大屋 | 千葉県栄養士福祉事業部  「栄養ケアプロセスを学ぶ」 | リモート | 研修 |
| 10.27 | 三神 | 東社協災害対策委員会　長野県視察 | 長野県 | 出張 |
| 10.30 | 佐久間 | 支援スタッフ部会　第４回運営委員会 | リモート | 出張 |
| 11.1 | 秋葉  藤平 | 令和5年度新任職員（転職）研修会 | 袖ケ浦 | 研修 |
| 11.2.  16.30 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 千葉 | 研修 |
| 11.6 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | リモート | 研修 |
| 11.9 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 千葉 | 研修 |
| 11.10 | 片岡 | 令和５年度サービス管理責任者更新研修 | 千葉 | 出張 |
| 11.21 | 大屋 | 夷隅郡市栄養士会　「千葉県の郷土料理」 | いすみ | 研修 |
| 11.22 | 佐久間 | 支援スタッフ部会第四回運営委員会、代表者会議 | 千葉市 | 出張 |
| 11.22 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | いすみ | 研修 |
| 11.30 | 佐久間 | 千葉県知的障害者福祉協会　理事会 | 千葉 | 出張 |
| 12.1 | 小高 | 千葉県強度行動障害支援者養成研修 | 千葉 | 研修 |
| 12.5 | 長田 | クリスマス忘年会における打ち合わせ | 鴨川 | 出張 |
| 12.6 | 小高 | 千葉県強度行動障害支援者養成研修 | 袖ケ浦 | 研修 |
| 12.8 | 鈴木恵 | 令和５年度　感染対策研修会 | 勝浦 | 研修 |
| 12.11 | 甲木 | 令和5年度　非常勤支援職員研修会 | 袖ケ浦 | 研修 |
| 12.13 | 堂下  加茂 | 令和5年度　管理者・サビ管対象研修会 | 千葉 | 出張 |
| 12.13 | 是枝 | 千葉県知的障害者福祉協会　権利擁護委員会 | 千葉 | 出張 |
| 12.14 | 岩瀬ゆ | 第三回虐待防止・権利擁護研修 | リモート | 研修 |
| 12.21 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 千葉 | 研修 |
| 12.22 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | いすみ | 研修 |
| 1.20.  21 | 堂下 | あかね園　３０周年記念式典 | 箱根 | 出張 |
| 1.22 | 佐久間 | 支援スタッフ部会　第六回運営委員会 | 千葉 | 出張 |
| 1.23 | 是枝 | 千葉県知的障害者福祉協会　権利擁護委員会 | 千葉 | 出張 |
| 1.25 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 千葉 | 研修 |
| 1.27 | 佐久間 | 令和5年度　自立支援セミナー | 千葉 | 出張 |
| 1.27 | 堂下  井上 | 令和５年度　自立支援セミナー | 千葉 | 出張 |
| 1.29 | 堂下  岩瀬祐 | 令和5年度　障害者虐待防止マネージャー研修会 | 東京 | 研修 |
| 1.29 | 井上  是枝  片岡 | 令和5年度　千葉県知的障害者福祉協会  権利擁護委員会「権利擁護の観点から記録の  取り方、大切さを学ぶ研修会」 | 千葉 | 出張 |
| 2.1 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 千葉 | 研修 |
| 2.5 | 大屋 | 東社協栄養調理スタッフ会　食べる事生きる事 | リモート | 研修 |
| 2.6 | 鈴木典 | 2024年度　介護報酬改定セミナー | リモート | 研修 |
| 2.9 | 會津 | 団体共催研修会 | 三鷹 | 研修 |
| 2.12 | 佐久間 | 千葉県知的障害者福祉協会　理事会 | 千葉 | 出張 |
| 2.14 | 三神 | 東社協災害対策委員会　2月会議 | 東京 | 出張 |
| 2.16 | 佐久間 | 夷隅・長生ブロック　ブロック会議及び施設見学 | 茂原 | 出張 |
| 2.17 | 鈴木恵  藤平由  藤平響 | てんかんを知ろう！その２  てんかん治療を巡る多様な側面 | 千葉 | 研修 |
| 2.26 | 長田 | 都市災害について学ぶ | リモート | 研修 |
| 2.26 | 三神 | 東社協災害対策委員会　学習会補助 | 東京 | 出張 |
| 2.27 | 大屋 | 令和５年度　給食施設研修会 | リモート | 研修 |
| 3.1 | 藤平 | 第３３回　こうさい療育・支援セミナー | リモート | 研修 |
| 3.6 | 三神 | 農場見学 | 東金 | 出張 |
| 3.7  ～8 | 佐久間 | 令和５年度部会長会議及び  全国支援スタッフ委員会代表者会議 | 東京 | 出張 |
| 3.8 | 是枝 | 千葉県知的障害者福祉協会　権利擁護委員会 | 千葉 | 出張 |
| 3.9 | 末吉 | 強度障がいのある方の支援者に対する研修 | 千葉 | 研修 |
| 3.12  ～13 | 堂下  佐久間 | 令和５年度千葉県知的障害者福祉協会  施設長一泊研修会 | 鴨川 | 出張 |
| 3.13 | 三神 | 東社協災害対策委員会 | 東京 | 出張 |
| 3.15 | 大屋 | 夷隅郡市栄養士会役員会 | いすみ | 研修 |
| 3.18 | 堂下  軽込  岩瀬祐  鈴木恵 | 大久保学園見学 | 船橋 | 出張 |

（若手・準職対象研修）

若手・準職の育成は中堅職員の役割であり、今年度も主任会で実施した。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 対象職員 | 実施日 | 研修テーマ | 担当主任 |
| ４ | 若手職員 | ４／１８ | 規定・マニュアル等 | 片岡 |
| ５ | 〃 | ５／２２ | 自閉症支援の実践 | 田辺 |
| 〃 | 〃 | ５／３１ | 福祉制度 | 鈴木 |
| ６ | 〃 | ６／７ | 虐待防止 | 岩瀬 |
| 〃 | 〃 | ６／２１ | 地域支援 | 屋代 |
| ７ | 〃 | ７／１１ | 感染症対策 | 田辺 |
| 〃 | 〃 | ７／２７ | 介護予防 | 鈴木 |
| ９ | 準職員 | ９／２０ | 健康管理、感染症対策 | 田辺 |
| １１ | GH職員 | ケア会議後 | 健康管理、感染症対策 | 田辺 |
| １ | 準職員 | １／１９ | 虐待防止 | 岩瀬 |
| ２ | GH職員 | ケア会議後 | 地域支援 | 屋代 |

３．人事考課「目標管理」

目標管理も人材育成・能力開発・公正な処遇基準とすることを目的とした取り組みであり、人事考課規定に基づき、１０月と３月の年２回実施した。職員の能力・技術を高めることに加えて、上司と部下の相談や意見交換の機会を増やすことも目的としている。部下は目標の設定から達成まで状況を報告・相談し、上司は経過確認や必要な助言を行う。そして結果を労い、次の目標を考える行程へとつないで、コミュニケーションを深めることができている。

４．減災・リスクマネジメント

自然災害の脅威は年々深刻さを増しているし、特に風水害の甚大さはライフラインに直結する問題である。いすみ学園は地理的優位性もあり、今のところ大きな災害から免れているが、災害は起こる前の準備と日常的な点検・管理が重要であることは言うまでもない。減災対策として重要視されるのは、「ＢＣＰ（事業継続計画）」と「防災マニュアル」の遵守、並びに日常的な訓練の実施である。特に日常訓練についてはさまざまな場面設定を行うことと、数種類の炊き出し訓練を実践してきた。

　新型コロナウィルス感染症に関しては、残念ながら4回のクラスターを経験することとなったが、幸い誰一人として重度化することはなく難を乗り越えることができた。また情報伝達、指揮命令系統に関しては、施設長をトップとして一本化がなされ、混乱することなく統制を取ることができたことは大きな成果の一つである。

　リスクマネジメントに関しては、件数は278件（昨年度253件）となり、昨年度を上回る提出率であった。また年度ごとの傾向調査及び種別ごとの事故調査と防止策も実施してきたが残念ながら、利用者の転倒、受傷や事故件数は増加の結果であった。（外傷転倒報告書：令和４年度42件　⇒　令和５年度53件）（事故報告書：令和４年度16件　⇒　令和５年度36件＊うち12件は車両の接触と破損）。背景には利用者の高齢・虚弱化による身体機能の低下が大きく影響しているものと思われる。今後は居室安全カメラの増設も含め、更なる対策強化が課題である。

５．権利擁護

いすみ学園の権利擁護の取り組みは長く、「オンブズマン制度」や「福祉第三者評価」だけでなく、日常的な権利擁護の取り組みを推進してきた。具体的には、作業班ごとに日常的な支援の成功例の取り組みや、利用者と職員の微笑ましい行動（にやりホットレポート）をまとめ、班会議や支援会議において報告して、全職員で共有できる機会を作った。

１．「福祉サービス第三者評価」は「福祉規格総合研究所」に依頼した。今回も多数の貴重な助言を頂くことができた。全体としては例年通りに高い評価を頂くことができた。

２．県福祉協会の「権利擁護委員会」への職員派遣も継続実施している。福祉協会や各施設との情報交換は、いすみ学園権利擁護委員会の大きな柱となっている。

３．「よろず相談会」については、今年度は2名の第三者委員をお迎えし、予定通り偶数月に実施した。毎回７名から8名の利用者が参加し、日頃の生活や作業、行事の話しや悩みなどをオンブズマンに傾聴して頂いた。

4. 虐待防止・身体拘束適正化委員会設立

　　虐待防止委員会開催　　R6.2.24

虐待防止担当　　　　　軽込課長補佐、岩瀬祐三子主任

　　身体拘束適正化担当　　加茂課長補佐、是枝志津子

　　虐待防止マネージャー　堂下施設長、岩瀬祐三子主任

**【３】生活介護（６０名）**

［作業班編成］　令和４年度より、万木班と外作業班を大きく編成し直している。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 作業班 | 利用者 | 職　員 |
| 万木班 | 男性利用者　　　８名  女性利用者　　１１名  利用者（１９名） | 鈴木典子・加茂正和  高地優輔・藤平　響  吉田友希・會津みどり  小高由希子・吉野由起子  鵜澤美帆・甲木秀文  菅根早苗 |
| 外作業班 | 男性利用者　　１６名  　　利用者（１７名） | 田辺清万・三上慎一郎  佐久間雅也・金城正直  長田圭司・三神颯人  末吉武司・川名純子  鈴木　晃・平山紀夫 |
| 石鹼班 | 男性利用者　　５名  女性利用者　　５名  利用者（１０名） | 屋代精一・岩瀬佳代子  大木崇司・是枝志津子  藤平浩美 |
| 食品加工班 | 男性利用者　　２名  女性利用者　　８名  　　利用者（１０名） | 岩瀬祐三子・祖一陽子  秋葉智子・市東やす子  池田恵理子 |
| グループ実習 | 男性利用者　　８名  女性利用者　　１名　　　　利用者（９名） | 片岡彰則・篠崎俊克  泰居容一 |

（１）園内の売上

|  |  |
| --- | --- |
| 分　　類 | 令和５年度（円） |
| 手芸品・石鹸・食品加工・万木織り・野菜・クラブ活動 | 5,233,908 |
| 受託整備　いすみ市（万木城址公園草刈り・広域農道草花植栽） | 1,827,100 |
| 受託整備　いすみ警察（障害者優先調達推進法事業）草刈り業務 | 98,000 |
| 受託整備　（株）第一エレクトロニクス　除草作業 | 500,000 |
| 受託整備　（株）西川　シール貼り作業 | 8,000 |
| 合　　計 | 7,667,008 |

（２）園内体験異動

　令和4年度に大幅な作業班編成を実施した為、職員および利用者本人からの希望は殆ど無かった。昨年同様にリフレッシュを目的とした「加工班から外作業班」への週１度の異動と、高齢、虚弱対策により、後期より週一回、外作業班から万木班への異動を実施した。結果的に体験異動を通して作業班変更につなげることもでき、利用者の状態に合わせたニーズをかなえることができた。今後も日常的に変化する利用者の状態像に合わせて主任会で精査しつつ対応していきたい。

**【４】施設入所支援（５２名）**

１　余暇活動

（１）クラブ活動

　　　［クラブ編成表］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| クラブ名 | 利　用　者 | 職　　員 |
| ウォーキング | 女性利用者　　６名 | 會津みどり・岩瀬祐三子  祖一陽子 |
| スイミング | 男性利用者　　７名 | 田辺清万・泰居容一  佐久間雅也 |
| 太鼓 | 男性利用者　　７名 | 屋代精一・大木宗司  高地優輔 |
| 自転車 | 男性利用者　　６名 | 末吉武司・片岡彰則  藤平　響 |
| 茶道 | 女性利用者　　４名 | 是枝志津子・小高由希子  秋葉智子・（斉藤先生） |
| 陶芸 | 男性利用者　　６名 | 篠崎俊克・長田圭司  鵜澤美帆・（井口先生） |
| 卓球 | 男性利用者　　３名  女性利用者　　４名 | 吉田友希・鈴木典子  三神颯人 |
| 悠ゆう | 男性利用者　　４名  女性利用者　　４名 | 岩瀬佳代子・三上慎一郎  金城正直・川名純子  菅根早苗 |

今年度も月2回の会議日をクラブ実施日として、内容の充実を図っている。

感染対策（マスク着用と手指消毒）を継続しつつ、コンビニでの買い物なども踏まえ概ね従来の活動を行った。また、高齢・虚弱化の対策の一環として、太鼓クラブを新設し、スイミングクラブのメンバー調整を行った。

　活動内容としてもスイミングクラブも年間を通してプールでの実施が基本となっている。サイクリングクラブも学園園庭だけでなく、一宮サイクリングロードも活用した。また太鼓クラブにおいては初めての取り組みで職員も手探りの状態ではあったが、紅白歌合戦での実演披露を行うこともできた。クラブ活動は学園創設当時から続く利用者の楽しみの重要な柱である。今後も利用者の個別ニーズをくみ取りながら実施していく。

（２）絵画教室

絵画教室における小瀧先生の招聘は、作品のクオリティや利用者への指導方法など、利用者だけでなく職員も学ぶべき点が多い。可能な限り方向性を模索し続け、クラスター発生時以外には先生の教室を開催することができた。利用者にとって大きな休日の楽しみとなっている。

（３）マイサポート

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 実施回数（回） | 利用者（名） | 備　　考 |
| 令和５年度 | １２６ | ５７ | 内容は個別での外食が中心 |

　令和５年度はマイサポートについても原状復帰した。ただし今までのように通院支援や面会支援などには基本的に活用しない方針を取った。その分利用者個々の生活の楽しみを向上させる取り組みを図り、利用者それぞれが誕生日などを祝う形で外食を楽しむことができた。

（４）ボランティア

槇の里祭において、外部より51名の参加を得た。ボランティアは社会福祉施設にとっては地域社会とのつながりだけでなく、権利擁護の視点でも重要な人材である。地域的に日常から参加していただけるボランティアの確保は難しいが、行事や余暇活動に協力してくれる情報は確保できた。今後利用者の楽しみとなるように調整していく。

（５）いすみ学園三大祭り：夏祭り・槇の里祭・歌の祭典

今年度は新型コロナウイルス感染症による集団感染（クラスター）が7月から8月の期間に、一度あったが、幸いに全ての行事が実施出来た。（歌の祭典は、たきの先生の来園が無かったため、紅白歌合戦に変更）全ての行事において利用者は大変楽しそうに参加していた。特に槇の里際においては保護者やお客様を入れて開催することができ、地域に生きる社会福祉施設としての役割の一端を果たすことができた。

（６）販売会

アフターコロナとなり、年間計画にそって複数回の販売会に参加した。6/17、/18「夏の生き活きフェア」。9/16、/18

「生き活きフェア」。10/7「いすみ市福祉大会」。11/3「いすみふるさと祭り」。5月と12月には「大丸木工所」での展示販売会を実施した。

　行政及び福祉施設、社会全体的に見ても展示販売会の開催自体が少なくなっている中、可能な限りの行事には参加をしてきた。またいすみ鉄道とのコラボ商品の開発など地域企業との連携も実施することができ、新たな取り組みの試金石となった。

（７）行事

　　・園外行事

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施月日 | 行先・内容 | 参加者 |
| ６／２・３ | ホタル観賞会 | 希望者 |
| ６／１６ | ボーナス外出 | 全　員 |
| ６／２９～３０ | 食品加工班旅行 | 班利用者 |
| ７／１２～１３ | 石鹸班旅行 | 班利用者 |
| ９／７ | G実習班旅行 | 班利用者 |
| １０／１０～１１ | 万木A班旅行 | 班利用者 |
| １１／１～２ | 万木B班旅行 | 班利用者 |
| １１／２０～２１ | 外作業A班旅行 | 班利用者 |
| １２／２２ | クリスマス忘年会 | 全　員 |
| ２／９・１０ | イルミネーション見学 | 希望者 |
| ２／２６～２７ | 外作業Ｂ班旅行 | 班利用者 |

　・園内行事

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施月日 | 名称 | 内容 | 参加者 |
| ４／２２ | 避難訓練 | 火災想定 | 全　員 |
| ５／２７ | 避難訓練 | 地震想定 | 全　員 |
| ５／２７ | 避難訓練 | 地震想定 | 全　員 |
| ６／２４ | 炊き出し訓練 | 園庭にて実施 | 全　員 |
| ７／１～８／３１ | サマータイム |  |  |
| ７／１７・10／７ | コロナワクチン接種 | 夷隅文化会館 | 全　員 |
| ７／２２ | 避難訓練 | 地震訓練 | 全　員 |
| ７／２７ | 夏祭り | 地域交流ホームにて | 全　員 |
| ８／２６ | 避難訓練 | 火災想定 | 全　員 |
| ８／７ | ケース会議 | 交流ホームにて実施 | 職　員 |
| ８／１５ | 花火大会 | 園庭にて実施 | 全　員 |
| ９／１ | 避難訓練・職員招集訓練 | 火災想定 | 全　員 |
| ９／１３ | 第三者評価（利用者調査） | 各班対応 | 全　員 |
| ９／１９ | 避難訓練 | 火災想定 | GH利用者、職員 |
| １０／２１ | 学園祭 | 園庭にて実施 | 全　員 |
| １０／２８ | 避難訓練 | 地震想定 | 全　員 |
| １１／１８ | 避難訓練 | 火災想定 | 全　員 |
| １２／９ | 避難訓練 | 初期消火訓練 | 新人職員 |
| １２／２６ | 餅つき | 体育館にて実施 | 全　員 |
| １２／２８ | ケース会議 | 交流ホームにて実施 | 職　員 |
| １／５ | 新年会 | 交流ホームにて実施 | 全　員 |
| １／１３ | 避難訓練 | 火災想定 | 職　員 |
| ２／９・１０ | イルミネーション見学 | 茂原アスモ | 希望者 |
| ２／２２ | 紅白歌合戦 | 交流ホームにて実施 | 全　員 |
| ２／２４ | 避難訓練 | 地震想定 | 全　員 |
| ３／１４ | 避難訓練 | 火災想定 | GH利用者、職員 |
| ３／１６ | 避難訓練 | 火災想定 | 全　員 |
| 毎月。第１土曜日には、血圧・体重測定。  第4土曜日（原則）の昼食時に「誕生会」を実施。 | | | |

恒例行事は年間予定に沿って予定通りに実施出来た。

　・一時帰宅

|  |  |
| --- | --- |
| 実施月日 | 学園生活者・職員の動きなど |
| ５／　３　～　　５／　５ | マイサポートなどに活用 |
| ８／１１　～　　８／１３ | 新型コロナウイルス集団感染により中止。 |
| １１／２３　～　１１／２５ | マイサポートなどに活用 |
| １／　２　～　　１／　４ | マイサポートなどに活用 |

今年度は、8月に集団感染（コロナウイルス感染症）があり、中止となったが、それ以外については、一時帰省の日程の期間を短縮した計画に沿って予定通りに実施した。

　・面会状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 実施日 | 主な行事 | 備考 |
| ４／９ | 個別支援計画書等の説明 |  |
| ９／１７ | 学園連絡会 |  |
| １２／１０ | 学園連絡会 |  |
| ３／１０ | 学園連絡会 |  |

面会日は2月（行事の変更の関係で中止）以外は、予定通りに実施した。尚、面会時は基本的な感染予防（マスク着用と手指消毒）を保護者に依頼した。

・理事会・評議員会

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 理事会 | ６／８,23 | １１／２２ | ３／７ |
| 評議員会 | ６／２３ | １２／　８ | ３／２２ |

**【５】短期入所・日中一時支援**

（千葉県）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 利用者 | | | 延日数・時間 | 前年度 |
| 短期入所 | １ | | Ｎa・Ｆｕ | ９８日 | ９６日 |
| ２ | | Ｔo・Ｔａ | ３６５日 | ３６５日 |
| ３ | | Ｋａ・Ｙｕ | ３６５日 | ３６５日 |
| ４ | | Ｔｕ・Ｒi | １８日 | ０日 |
| ５ | | Ｓｕ・Ｋｉ | ２日 | ０日 |
| ６ | | Ｉｔ・Ｈｉ | ５日 | ０日 |
| （計） | ６人 | | | ８５３日 | 対比日＋２７日 |
| 日中一時支援 | １ | Ｎa・Ｆｕ | | ３０時間 | ５６時間 |
| ２ | Ｔｕ・Ｒi | | ５７，５時間 | ２２０，５時間 |
| ３ | Ｓｕ・Ｋi | | ３９時間 | ２１時間 |
| （計） | ３人 | | | １２６．５時間 | 対比－１７１時間 |

（東京都）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 利用者 | 日数 | 備考 |
| 短期入所 | Ｓe・Ｔｏ | ４日 |  |
| （計） | 1人 | ４日 |  |

**【６】グループホーム**

(1)　ＧＨの利用状況（変化なし）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ＧＨ | 利用者（男・女） | 日中活動など |
| さくらの家 | ５名（男３・女２） | 職場就労、生活介護（学園の生活介護） |
| たんぽぽの家 | ５名（男２・女３） | 職場就労、生活介護（学園の生活介護） |

　　高齢化問題はＧＨ利用者も同様で、Ｇ実習参加は継続しているが週末などは必要に応じて学園対応としている。

(2)　GHケア会議

寮長やＧＨ支援員補助職員、ＧＨサビ管、地域生活委員会の委員などが参加して利用者情報の共有と対策等を検討した。ケア会議は寮長たちの利用者に対する悩みを解決する場ともなっており、人間関係を円滑にすることで、良好な利用者支援に寄与することができた。

(ケア会議実施日)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ４／２８ | ５／３０ | ６／２８ | ８／２９ |
| ９／２７ | １０／２５ | １１／２８ | １／３０ |
| ２／２８ | ３／２７ |  |  |

(3)　移動支援の実積（２ヶ所のＧＨの計）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 利用回数（回） | 総利用時間（時間） | 週平均時間 |
| 令和４年度 | ７ | ２４ | ０ |
| 令和５年度 | ４５ | １９７．５ | ４．３ |
| 増減 | ＋３８ | ＋１７３．５ | ＋４．３ |

＊新型コロナウイルス感染予防により、外出範囲は千葉県内とした。

(4)　防災訓練・地域清掃活動

さくらの家、たんぽぽの家共に、昨年度と同様に「減災」を意識したＢＣＰに基づく備品管理は毎月実施している。また、避難訓練は夜間を想定（19:00～）した内容で、R4、9/17とR5、3/20に実施した。地域清掃活動は、さくらの家が10/7（ファミリーマート）。たんぽぽの家が10/28（ミニストップ）に実施した。それぞれのGH近隣のコンビニの駐車場清掃を行った。

**【７】食　事と睡　眠**

食事に関しては、【２】利用者支援の柱　４．食事形態　P６～９参照

睡眠時間の確保は、健康維持における重要な問題である。睡眠時間の確保に向けた対応は常に必要な利用者には個別にチェックして支援の検討材料に反映している。昨年度と同様にコロナ禍でも特別な支障をもたらす利用者は少なく、毎月行っている脳神経科医の野村先生の診察でも、特定利用者の報告や相談程度だった。

**【８】 会　議**

「会議」の目的は「課題に対してなにをするかを決定すること」であり、決定したことは実

践し、その結果に責任を持つこと（検証）が不可欠である。

（１）運営会議

幹部職員で構成し、重要事項を協議して円滑な事業運営を図る。

ボ－ナス支給査定委員会、金銭管理委員会、虐待防止委員会（２/２４開催）。

考課者調整会議開催（前期１０／２３後期３／２５）

（２）職員会議〔第4土曜日午前中開催〕

全職員が参加し、学園全体に関わる諸問題を報告・検討して周知徹底を図った。

（３）支援会議〔第2土曜日午前中開催〕主任会主催。

会議目的は多くの職員の意見をくみ取り、課題に対する支援の方向性を定めることであ

る。男女別会議の活用も進み、より個別具体的な課題を調整することにつながっている。

（４）サービス点検委員会〔適時開催〕

学園全体に関わる事項の検討・報告は、職員会議/支援会議を通じて全体に周知させている。

（５）主任会［月/１階］

主任、各班の責任者で構成し、課題を分析・提案し、その後の検証までを行う。５年度も準職員/パ－ト職員の研修も企画し実施した。

（６）作業班・委員会会議〔作業班会議は隔月/1回〕

各作業班及び各専門委員会の計画に沿った支援状況のモニタリングを行う。また、新たな課題等について検討を行った。

（７）クラブ担当者会議〔年/2回実施〕

　各クラブの責任者がつどい、クラブの課題や利用者状況の確認と調整を実施している。結果をケース会議に持ち寄り、情報の共有と利用者のクラブ移動なども検討されている。令和５年度は利用者の身体状況に応じたクラブ移動を２名実施した。

（８）ケア会議〔月/1回〕

GHさくら・たんぽぽの家 寮長と寮長補佐、サビ管、学園職員が参加して、学園とGHを繋ぐ大切な情報を共有する場である。必要に応じてバックアップ体制を整えている。

〔専門委員会〕

1. 権利擁護委員会　　　【2】利用者支援の柱より　(3)-5．権利擁護　P１７参照。
2. 生活余暇委員会

今年度は、恒例の夏のイベントのホタル観賞に希望者を募って実施している。更に２月にはイルミネーションを楽しむイベント（もばら冬の七夕）を企画し出掛けることができた。また、生活の中で季節感を感じられるように、季節ごとに棟内を装飾し気持ちの豊かさを求め演出した。

1. 地域生活委員会

令和5年度も夏場に新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、委員会の活動が一部制限されたことは否めないが、10月に地域清掃、11月に合同での日帰り旅行を実施することができた。また「移動支援」に関しては、障がいを持つ方の地域生活や社会参加には不可欠なサービスであり、利用者自身の人生を豊かにする一助となるので、次年度もいすみ学園において可能な限り制度の利用を進め、グループホーム利用者の皆さんの生活をバックアップしていければと考える。

1. 就労委員会

令和5年度は、新型コロナウイルスが第5類に移行となり、就労支援においても様々な制約が解禁となった。特に企業訪問においては直接フェイストゥフェイスの関係が戻り、より直接的に情報を得る機会が増えた。しかし、個々の問題はこの４年間我々も気付かない所で広がっている事実にも気づかされた１年でもあった。只4年ぶりにマイサポート、班旅行といった楽しみが再開した事により、就労に対する結果を目に見える形で、提供する事が出来るようになった。今後得た給料や謝礼金を使った取り組みをさらに広げていければと思う。

1. 健康管理委員会（精神科などの診察担当も含む）

利用者の健康状態、並びに栄養面の把握、検討を実施している。委員会は看護師、栄養士、支援員等、並びに給食委託業者で構成されており、毎月1度会議が行われている。毎月の会議で「その月の体調不良者の有無、並びにその看護状況の確認」「通院の状況や情報提供」「食事面、栄養面の個別的配慮、改善」などの検討を行っている。また食事については行事食や季節を感じられるメニューなどの工夫をして利用者・職員にも好評であった。なかでもバレンタインデーのチョコファウンテンと、なんちゃってマックフェアは利用者の笑顔が最高だった。

毎月野村診察も実施され、日常の利用者の様子を報告し、健康管理に活かされている。

1. 商品研究委員会

令和5年度は、SNS（インスタグラム）をメインに、学園の商品等を載せて紹介を行った。また、加工班と話し合い、外作業班で作っているニンニクを使って、新たな商品の提案を行い、試行的にニンニクペースト、オイル漬けを作ることができた。次年度は、ニンニクのオイル漬けを再度作ってもらい、商品化出来る様に取り組んでいきたい。

1. 虐待防止委員会

虐待防止委員で構成し、２月に運営委員会を開催した。「職員セルフシ－ト」の活用は、新人職員3名を対象に活用した。それぞれの職員が、上司に困りごとなどを相談する機会となった。

1. ICT委員会

令和５年度はいすみ学園におけるICT移行２年目となった。当初予想していた懸念は、繰り返し行った練習や研修において、職員各々のレベルアップが目に見える形で現れる事になった。又課題のあった生活日誌についても、一つ一つ問題の解決を図り無事に移行をする事が出来た。只全体的に記録が簡素化している事実もあり、今後これらについての改善を図りたいと考えている。

⑨オンブズマン会議「よろず相談会」

今年度は、8月を除いた偶数月（5回）に、2名の第三者委員をお迎えし、「よろず相談会」を実施した。

⑩　地域包括ケアシステム構築推進事業

　「地域の課題について考える」を基本テーマに、検討会議（5月、7月、9月、3月）に男性統括主任が参加した。

**【９】その他**

（１）　「福祉サービス第三者評価」

令和５年度、「（株）福祉規格総合研究所」で受審。

その結果については「福祉ナビ」で公開されている。

（２）実習生受け入れ

　　昨年度までは、新型コロナウイルス感染予防等の理由で見合わせていたが、今年度は基

　　本的な感染対策を継続しつつ、一部再開、実施した。







(3)千葉県DWAT災害派遣

　令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」への災害派遣。2月2日（金）から8日（木）まで、石川県に向け千葉県DWATの一員として、いすみ学園から鈴木統括主任が参加し、被災地の窮状をつぶさに見続け、職員にも有意の情報を提供してくれた。

（４）各作業班の顧客

・食品加工班

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ごじゃ箱　（大原） | 290－0004　いすみ市大原9930 | 0470－63－1231 |
| ごじゃ箱　（岬） | 299－4615いすみ市岬町井沢1896-１ | 0470－87－8580 |
| 農産物直売所「まんてんの園」 | 298－0105　いすみ市能実39 | 0470－86－3743 |
| 農産物直売所「なのはな」 | 298－0002　いすみ市日在1158－１ | 0470－64－0502 |
| 道の駅　（ながら） | 297－0233　長柄町六地蔵138－１ | 0475－35－4741 |
| カインズマルシェ | 297－0007　茂原市腰当653－1 | 070-2790-9027 |
| セルプショップぶなの森 | 596－0808　岸和田市北町16-20 | 072－431－2878 |
| りんごの木 | 581－0868八尾市西山本町4－15－2 | 0729－93－4330 |
| ながら太陽ファ－ム | 297-0206 長柄町山根2010 | 0475-47-3711 |
| 非営利活動法人日本セルプセンター | 160-0022　東京都新宿区新宿1-13-1  大橋御苑駅ビル別館2階 | 03-3355-8877 |
| 特定非営利活動法人PIPPO | 125-0042 東京都葛飾区金町5-28-2 | 050-5275-2000 |
| レオック | 100-0004　東京都千代田区大手町  1-1-3大手センタービル１７階 | 03-5220-8503 |
| 長生村尼ケ台直売所 | 299-4345長生郡長生村本郷5366 | 0475-32-5237 |
| パレットショップひびき | 577-0804大阪府東大阪市  中小阪5丁14番23号 | 06-6732-1130 |
| ベーグル粉音 | 299-4616いすみ市岬町長者37-3 | 0470-64-4802 |

・外作業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ごじゃ箱　（大原） | 290－0004　いすみ市大原9930 | 0470－63－1231 |
| ごじゃ箱　（岬） | 299－4615いすみ市岬町井沢1896⁻１ | 0470－87－8580 |
| 農産物直売所「まんてんの園」 | 298－0105　いすみ市能実39 | 0470－86－3743 |
| 農産物直売所「なのはな」 | 298－0002　いすみ市日在1158－１ | 0470－64－0502 |
| 道の駅　（ながら） | 297－0233　長柄町六地蔵138－１ | 0475－35－4741 |
| レオック | 100-0004　千代田区大手町1-1-3 | 03-5220-8550 |
| ながら太陽ファ－ム | 297-0206 長柄町山根2010 | 0475-47-3711 |

・石鹸班

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ごじゃ箱　（大原） | 290－0004　いすみ市大原9930 | 0470－63－1231 |
| ごじゃ箱　（岬） | 299－4615いすみ市岬町井沢1896⁻１ | 0470－87－8580 |
| 農産物直売所「まんてんの園」 | 298－0105　いすみ市能実39 | 0470－86－3743 |
| 農産物直売所「なのはな」 | 298－0002　いすみ市日在1158－１ | 0470－64－0502 |
| 農産物直売所「はじめの一歩」 | 299-4413　長生郡睦沢町上之郷1952 | 0475－43－0877 |
| 農産物直売所「尼が台」 | 299－4345長生郡長生村本郷5366－1 | 0475－32－5237 |
| 道の駅　（ながら） | 297－0233　長柄町六地蔵138－１ | 0475－35－4741 |
| 道の駅　（たけゆらの里） | 298－0256　夷隅郡大多喜町本神855 | 0470－82－5505 |
| 源氏商店 | 298－0124　いすみ市弥正375 | 0470－86－2053 |
| JAいすみグリーンスパ | 299－0001　いすみ市若山411 | 0470－60－9820 |
| なのはな東浪見店 | 299－4303長生郡一宮町東浪見1621 | 0475－47－3600 |
| ヱビスヤ | 299－4501　いすみ市岬町椎木1846 | 0470－87－2709 |
| カエム農園 | 298－0252　大多喜町三又851 | 0470－84－0344 |
| わくわく広場　東郷店 | 297－0017　茂原市東郷1618 | 0475－22－7320 |
| ながら太陽ファ－ム | 297-0206 長柄町山根2010 | 0475-47-3711 |

**施設設備の整備状況**

令和５年度の主な設備整備は次の通りである。

〔固定資産の取得〕

整備名　　「厨房空調機器更新工事」

取得価格　　　　６７５，４９２円

　　　（内訳）自己資金 　　　 ６７５，４９２円

補 助 金 0円

整備名　　「たんぽぽの家　塗装工事」

取得価格　　１，９８６，６００円

　　　（内訳）自己資金　 １，９８６，６００円

補 助 金 　　　　　　　　　 ０円

整備名　　「電車車両一式」

取得価格　　５，０８９，７００円

　　　（内訳）自己資金　　 　 0円

寄 附 金　 ５，０８９，７００円

（クラウドファンディング）

整備名　　「歯ブラシ殺菌灯付保管庫」

　　　　　　　　　取得価格　　　　　１４４，４３０円

　　 （内訳）自己資金　 　　 　　　　　０円

補 助 金 １４４，４３０円（東京善意銀行）



